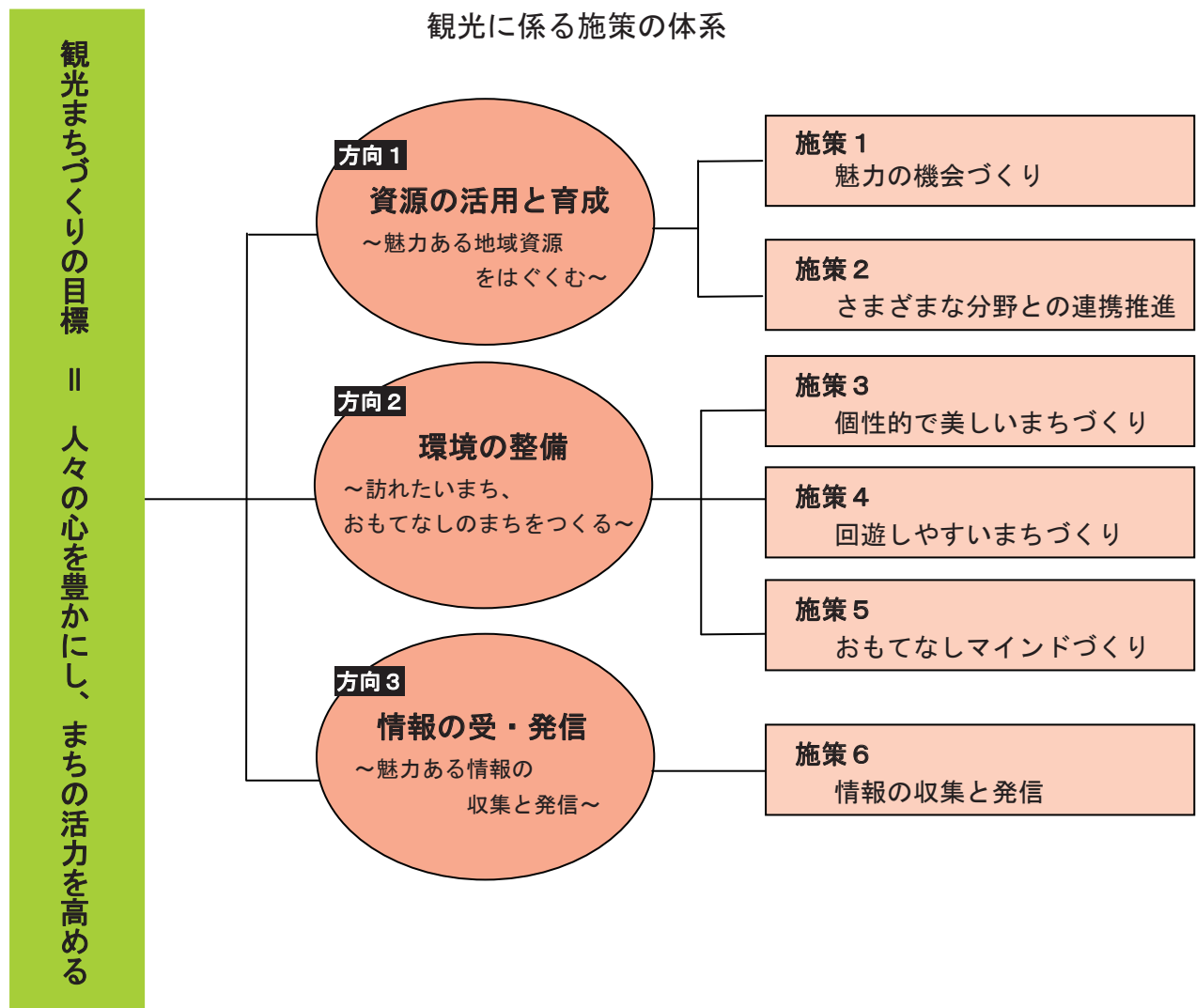


第6章 観光に係る施策の体系

～ 魅力の再確認と情報発信を～

観光まちづくりは「まち」が舞台となることから、各分野における多彩な取組が求められますが、個別の取組を施策として体系化し、めぐろ観光まちづくり協会を始めとして、区民・事業者・区（行政）などが、それぞれ役割の明確化や連携・調整を行ない進めていく必要があります。



アクションプログラムの取組の方向性の定義

- 取組の方向性 …平成27年度から36年度までの方向性を示したものです。
 - (1)「継続」…量的・質的に現状を維持するもの
 - (2)「充実」…量的または質的に充実させるもの
 - (3)「新規」…新規に実施するもの
 - (4)「検討」…検討するもの
- これまでの取組状況 …区内で行われている取組の例を示したものです。
区以外の団体等が行っているものも掲載しています。

方向1 資源の活用と育成 ～ 魅力ある地域資源をはぐくむ ～

施策1 魅力の機会づくり

歴史・文化的資源（有形・無形の文化財）をはじめ、芸術・文化・スポーツ施設、目黒川や緑道の桜並木、まちのシンボルとなる樹木、自然豊かな公園、ファッション、インテリア、ブティックなどおしゃれで個性溢れるショップ、味自慢のレストランや和・洋菓子店、地域の縁日や祭り、美しい街並みなど、今あるさまざまな観光資源の魅力を発掘し、見直し、より多くの人々が目黒の魅力に触れる機会をつくれます。



《継続・充実するプログラム》

アクションプログラム		取組の方向性 (27年度～36年度)	これまでの取組状況
1	目黒の地名・歴史に由来する場所や行事のPR	継続	・地域歴史探訪 冊子の発行 など
2	区内の産業文化の発掘・再発見	継続	・民間企業と連携したまち歩きの実施 ・MISC（目黒インテリアショップコミュニティ）によるイベントの実施 ・自由が丘スイーツフェスタ など
3	目黒川や桜など目黒区の自然の魅力のPR	継続	・ささえあう ^{いのち} 生命の輪 めぐろのいきもの80選 ・めぐろWALK さくらMAP など

アクションプログラム		取組の方向性 (27年度～36年度)	これまでの取組状況
4	新しいまちづくりの連携	継続	・大橋地区のエリアマネジメント など
5	総合庁舎や旧前田家本邸と いった文化的価値の高い 施設のさらなる活用	充実	・目黒区総合庁舎建築ガイドツアー ・目黒建築めぐり塾 ・旧前田家本邸洋館サロンコンサート ・総合庁舎ウエディング など
6	目黒区美術館を始めとした 文化施設でのイベントの さらなる活用	充実	・目黒区美術館や文化ホールでの ワークショップ など
7	ロゴマーク (※用語説明参照) ・キャラクターの活用	充実	・ごみ減量普及啓発キャラクター ・環境保全キャラクター ・高齢者見守りネットワークキャラクター ・社会福祉協議会キャラクター ・自由が丘イメージキャラクター ・キャラクターの目黒区特別住民認定 など

《検討等を進めるプログラム》

アクションプログラム		取組の方向性 (27年度～36年度)
1	成熟した食文化など目黒の衣・食・住といった生活文化の魅力のPR	新規
2	たけのこやさんまなど 目黒区にゆかりのあるものを生かした取組の実施	新規
3	区民まつり等のイベントのシーズンオフ時のPR方法について検討	検討



結婚式ができる総合庁舎



「めぐろ EYE'S 地域歴史探訪」の冊子